

マーケットの動き (2023年2月6日～2月10日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

週初は、前週末に発表された米国景気指数の強い結果を受け米国長期金利が上昇したことから円安の進行が好材料となり、国内株式は底堅く推移しました。その後、国内企業の決算発表が相次ぎ投資家の関心が高まる中、日銀次期総裁の後任人事を巡る報道が錯綜したことを嫌気し、国内株式は上げ幅を縮めて週を終えました。

投資環境見通し (2023年2月)

国内株式相場はレンジ内で推移

企業業績については、内需や設備投資計画が堅調を維持する一方、外需の減退や円安効果の一巡、原材料価格が高騰した時期に仕入れた在庫の積み上がりなど、収益圧迫懸念が残る状況になっています。国内株式相場は、世界的な景気悪化や足元の円高を受けた企業業績の悪化懸念が下押し材料とみられますが、中国景気が早期に回復するとの見方や日本経済の底堅さが評価される可能性もあり、レンジ内で推移するとみえます。

	2月10日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,986.96	0.85%	5.64%	2.76%	1.24%
日経平均株価	27,670.98	0.59%	5.71%	▲0.53%	▲0.09%

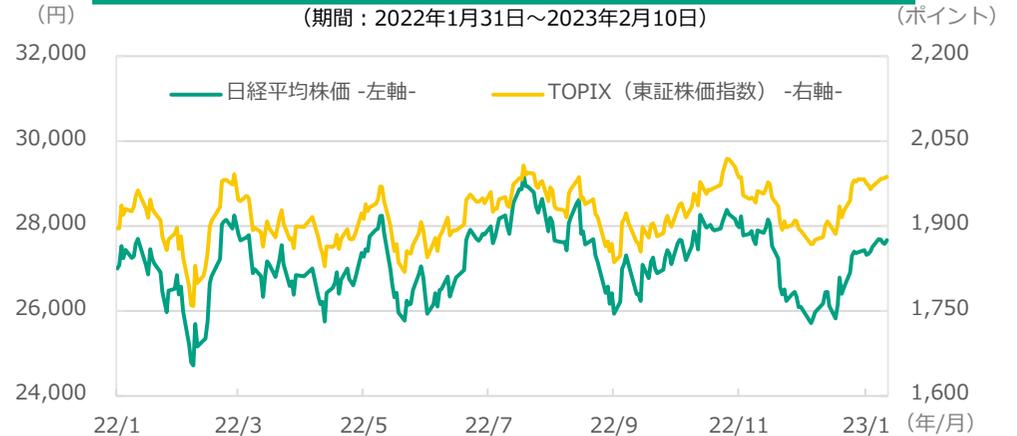
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

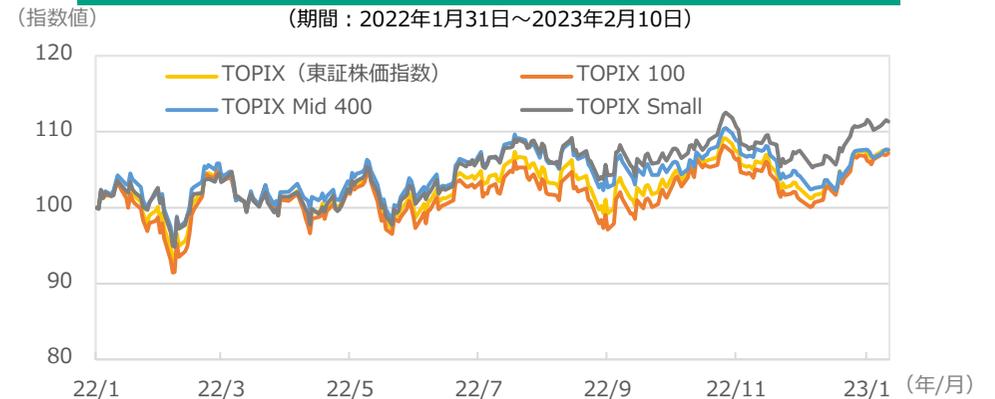
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202302_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2022年1月31日の値を100として指数化

※出所: FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成